

様式3

## 意見募集の結果を公表します

- ◇ 案件名 「第3次山県市健康増進計画（案）の策定」について
- ◇ 意見募集期間 令和2年12月23日（水）から令和3年1月29日（金）まで
- ◇ 提出方法別意見提出者数

提出方法	人 数
電子メール	0
ファクシミリ	0
郵送	0
窓口	1
計	1

- ◇ 提出された意見の概要及びそれに対する市の考え方（同趣旨の意見は一括）

No.	頁	提出された意見の概要	市の考え方
1	ー	<p>健康増進計画と高齢者福祉計画の改定時期を合わせ、事業のシナジー効果を引き出す方向で計画の策定が行なわれている。それぞれの専門特化と共に、相互連携を考え対策の整合性を図ることは重要と思われる。</p> <p>この計画の策定に当たり、広く市民からの声を集約する意味でアンケートが取られ、関係団体にも調査し、正確な実態把握を重視して進められている点が、計画の具体化に活かされている。常にこうした努力がされており、今後もここで出された生の声にこだわって、事業を進めて頂きたい。</p> <p>人口動態の推移について、45年後の山県市の人口を約8800人ということを前提に計画を中長期的視点から策定するとしているが、人口減少は社会政策上の結果であり、こ</p>	<p>人口減少に対しての施策および雇用問題等については、「第2次山県市総合計画後期基本計画および第2期山県市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で計画を策定して</p>

【山県市のパブリックコメント制度】

	<p>これまで人口減少を進めてきた国策としての社会政策の評価見直しが必要だが、そうした視点がない。</p> <p>農村の破壊と都市への若者の流出、そして低賃金構造と非正規雇用の拡大の中で、結婚できない若者が増え、そのことが社会構造（社会保険や年金構造に影響）の歪みのもとを作ってきたと思う。こうした政策を改め非正規雇用の正規雇用化などの労働政策、企業政策を変えていけば40年余で人口増加の流れをつくることができるという試算もある。こうした根本的な政策の転換をせず、従来の政策の延長では、いずれ破たんがくると思われる。</p> <p>このような前提がありつつも、山県市でこの計画策定をどうするかという視点で、いくつか感じた点を述べたい。第一に、健康寿命の延伸の点で「健康フェスタ」の取り組みを、簡易型でもいいので「各地域でミニバン健康フェスタ」の開催に繋げていけたらいいのではないか。</p> <p>第二に、山県市の医療機関が少ないことと同時に、受診・入院は人口比で高いという統計も出されている。この点では北部地域、特に美山の医療・診療体制を確保することが緊急の課題ではないか。かかりつけ医70%の数値を維持し、拡大していくことが、病気の早期発見、早期治療と健康予防の重要な柱になる。この点からも関係機関との協議を進め、この計画の重点にも据えてほしい。</p> <p>感染対策は新型コロナ対策の知見</p>	<p>おりますので、この計画の中では健康づくりに関することの施策となっております。</p> <p>この計画では、事業展開の方向性を中心としており、詳細な実施方法については明記せず、各担当の事業実施計画の中で検討していくこととしております。いただいたご意見を参考に検討していきます。</p> <p>医療・診療体制の確保については大きな課題と捉えていますが、医療体制整備については「第2次山県市総合計画後期基本計画および第2期山県市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で関係機関との協議を含め方向性を打ち出していますので、この計画では市民一人ひとりと一緒に取り組む健康づくりを中心にした施策としております。</p> <p>感染症対策について、現在は新型</p>
--	--	--

【山県市のパブリックコメント制度】

	<p>も賦課してはどうか。</p> <p>食育の点で、朝食喫食率の若者の低下傾向と生活習慣の確立が重要であり対策が必要である。同時に食の関心を高める意味で、農業体験や山県市の養鶏・養豚の現場にふれあうことなど学校教育の中で、これまで以上に進めて頂きたい。若いころからの体験は重要であり、農業を抱える山県市ならではの取り組みやすい有利な点を生かせると思う。</p> <p>サントリー「130超えたら胡麻麦茶」の逸話は有名だが、売れなかった商品がこの一言で爆発的に売れるようになった話しである。「きっかけ」が重要です。ともに頑張りましょう。</p>	<p>コロナウイルス感染症のことが早急な対策ではありますが、感染症対策は主に県の施策であること、基本的な感染症対策はどの感染症に対しても同じであるため、あえて新型コロナウイルスの名称は使用しておりませんのでご理解ください。</p> <p>ご助言のとおり、朝食を食べることと生活習慣を関連付けた取り組みや体験を通した食への関心を高める取り組みを関係機関と連携しながらおこなっていききたいと思っております。</p>
--	--	---

◇ 問い合わせ先

山県市健康介護課

電話 0581-22-6838